

# 安全データシート

作成日：2022年1月8日

改定日：2023年3月25日

## 1. 化学品及び会社情報

製品名 : 下地調整用プライマー  
会社名 : 株式会社タイセイ  
住所 : 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー8階  
担当部門 : 本社 営業部  
電話番号 : 03-3374-1234  
FAX 番号 : 03-3374-5678

## 2. 危険有害性の要約

### 2.1 GHS 分類

#### (1) 物理的及び化学的危険性

|          |        |
|----------|--------|
| 引火性液体    | 区分 2   |
| 自己発熱性化学品 | 分類できない |
| 金属腐食性物質  | 区分外    |

#### (2) 人の健康に対する有害な影響

|                   |  |
|-------------------|--|
| 急性毒性(経口)          | 区分 5   |
| 急性毒性(経皮)          | 区分外  |
| 急性毒性(吸入：ガス)       | 分類対象外  |
| 急性毒性(吸入：蒸気)       | 区分 4   |
| 急性毒性(吸入：粉じん、ミスト)  | 類対象外(粉じん)  |
| 急性毒性(吸入：粉じん、ミスト)  | 分類できない(ミスト)                                      |
| 皮膚腐食性・刺激性         | 区分 2   |
| 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性   | 区分 2B  |
| 呼吸器感作性            | 分類できない   |
| 皮膚感作性             | 区分外  |
| 生殖細胞変異原性          | 区分外  |
| 発がん性              | 区分外  |
| 生殖毒性              | 区分 1A  |
| 特定標的臓器<br>(単回ばく露) | 全身毒性<br>区分 1(中枢神経系)<br>区分 3(麻酔作用)<br>区分 3(気道刺激性) |
| 特定標的臓器<br>(反復ばく露) | 全身毒性<br>区分 1(中枢神経系、腎臓、肝臓)                        |
| 吸引性呼吸器有害性         | 区分 1   |

(3) 環境有害性

水生環境急性有害性 区分2  
水生環境慢性有害性 区分外  
物理化学的危険性で記述の無い項目は対象外です

2.2 GHS ラベル要素

(1) 絵表示又はシンボル



(2) 注意喚起語

危険

(3) 危険有害性情報

引火性の高い液体及び蒸気  
飲み込むと有害のおそれ(経口)  
吸入すると有害(蒸気)  
皮膚刺激  
眼刺激  
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ  
中枢神経系の障害  
眠気及びめまいのおそれ  
呼吸器への刺激のおそれ  
長期又は反復ばく露による中枢神経系、腎臓、肝臓の障害  
飲み込み、気道に侵入すると生命に危険のおそれ  
水生生物に毒性

(4) 注意書

【安全対策】

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと  
使用前に取扱説明書を入手すること  
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと  
熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること、禁煙  
防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること  
静電気放電や火花による引火を防止すること  
個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること  
保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること  
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと  
取扱い後はよく手を洗うこと  
環境への放出を避けること

### 【応急措置】

- 火災の場合には適切な消火方法をとること
- 吸入した場合には空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること
- 吐かせないこと
- 眼に入った場合には水で数分間、注意深く洗うこと
- コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと
- 皮膚に付着した場合には多量の水と石鹼で洗うこと
- 皮膚(又は毛髪)に付着した場合には直ちにすべての汚染された衣類を脱ぎ、取り除くこと
- 汚染された保護衣を再使用する場合には洗濯すること
- ばく露又はその懸念がある場合には医師の診断、手当てを受けること

### 【保管】

- 容器を密閉して涼しく換気の良いところで施錠して保管すること

### 【廃棄】

- 内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること

## 3. 組成及び成分情報

- 製品の種類            ビニール樹脂溶液(主剤)
- 用途                    防水及び下地調整材(塗布材)
- 成分及び含有量

| 成分名         | 含有量(%) | CAS No.   | PRTR法    | 労安法(令別表第9番号) |
|-------------|--------|-----------|----------|--------------|
| ビニール        | 45     | —         | —        | —            |
| トルエン        | 33     | 108-88-3  | 第一種・227号 | 該当・407号      |
| キシレン        | 7      | 1330-20-7 | 第一種・63号  | 該当・136号      |
| 酢酸イソブチル     | 5      | 110-19-0  | —        | 該当・181号      |
| プロピレングリコール  | 4      | 108-65-6  | —        | —            |
| メチルイソブチルケトン | 6      | 108-10-1  | —        | 該当・569号      |

## 4. 危険性の分類

- 分類名称    引火性液体・急性毒性物質
- 有害性        ・非常に燃えやすい
- ・有機溶剤中毒を引き起こす恐れあり
- ・蒸気は眼や喉の粘膜を刺激し、濃い蒸気を吸入すると頭痛、めまい、吐き気を催す恐れあり
- ・変異原性物質(MDI)含有

## 5. 応急措置

- 目に被液    流水で最低 15 分以上瞼の裏まで完全に洗浄した後、医師の診察を受ける
- 皮膚に被液  付着物を布で素早く拭き取り、大量の水で石鹼もしくは手洗い用洗剤を使用して十分に洗い流す
- その際溶剤やシンナーを使用しないこと
- 付着箇所に変化や異常が見られたり、痛みを伴う場合は医師の診察を受ける

|    |  |
|----|--|
| 吸入 | 蒸気・ガスなどを大量に吸い込んだ場合は<br>直ちに空気の新鮮な場所へ移動し暖かく安静にする<br>気分が悪くなった場合は医師の診察を受ける |
| 誤飲 | 流水で口の中をよく洗浄、吐き出させた後、医師の診察を受ける  |
| 注意 | アレルギー体質や皮膚過敏症、呼吸器系疾患と思われる方の使用は避けてください                                  |

## 6. 火災時の措置

|      |   |
|------|---|
| 消火方法 | 火災時、周囲の可燃性物を速やかに遠ざけ、<br>水は使用せず下記の消火剤で消火する |
| 消火剤  | 泡消火剤、粉末消火剤、乾燥砂、炭酸ガス(水は使用不可)               |

## 7. 漏出時の措置

使用保護具 保護眼鏡、保護マスク、手袋、保護衣、長靴

- ・付近の着火源・高温物及び可燃物を速やかに遠ざける
- ・着火の場合に備え、上記消火器具を準備する
- ・乾燥砂・土その他不燃性のものに吸収させ回収し、大量流出の場合は盛り土で囲い流出を防止する
- ・流出物は密閉可能な容器に回収、安全な場所へ移し、  
付着物、廃棄物などは関係法規に基づき対処する

## 8. 取扱い及び保管上の注意

|    |   |
|----|---|
| 取扱 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護具(眼鏡、手袋、前掛けなど)を着用し、蒸気を吸い込まないように注意する</li> <li>・換気のよい場所で取り扱う</li> <li>・容器は都度密閉し、火気、スパーク、高温物の周辺での使用を禁止する</li> <li>・静電対策の装置を設置し、電気機器類は防爆型、工具は火花防止型のものにする</li> </ul> |
| 保管 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・湿気を避け、風通しの良いところに保管する</li> <li>・直射日光、火気、熱源を避け、アルコール類、アミン類と接触しないよう保管する</li> </ul>   |

## 9. 暴露防止及び保護措置

- ・取扱設備は防爆型を使用し、排気装置を設置して蒸気が滞留しないよう注意する
- ・液体の輸送、汲取、攪拌などの装置はアースを設置し、  
周辺に高温物や発火源となるものを近づけないよう注意する
- ・自動塗装機を使用したり、換気のよい室内で状況に応じて  
局所排気装置などを設置しての取り扱いが望ましい
- ・タンク内部などの密室空間作業の際は、底部まで十分に排気可能な装置を設置し、  
全面型ホースマスクを使用する
- ・保護眼鏡 着用を推奨
- ・保護手袋 不浸透性のゴムまたは樹脂製を推奨
- ・保護衣 保護服、保護帽、保護靴などの着用を推奨
- ・保護マスク 有毒ガス用防毒マスクを着用、密室空間では送気マスク着用

10. 物理的及び化学的性質

外観 淡黄色透明液状  
 沸点  
 比重 約 0.915(25°C)

11. 安定性及び反応性

|      |          |       |  |
|------|----------|-------|--|
| 引火性  | 引火点 25°C | 粉塵爆発性 | なし   |
| 発火点  | 480°C    | 自己反応性 | なし   |
| 爆発限界 | —        | 反応安定性 | なし   |
| 酸化性  | なし       | その他   | アルコール類・アミン類との接触に危険性あり                      |
| 可燃性  | あり       |       | 燃焼時有毒ガスを発生(NO <sub>x</sub> 、CO、その他低分子モノマー) |

12. 有害性情報

組成物質の有害性及び暴露濃度基準

| 物質名         | 管理濃度   | ACGIH TLV | その他有害性                      |
|-------------|--------|-----------|-----------------------------|
| キシレン        | 100ppm | 100ppm    | LD <sub>50</sub> 4,300mg/kg |
| トルエン        | 50ppm  | 50ppm     | LD <sub>50</sub> 5,000mg/kg |
| メチルイソブチルケトン | 50ppm  | 50ppm     | LD <sub>50</sub> 2,080mg/kg |

労働基準監督所は MDI を変異原性が認められる既存化学物質としている

13. 環境影響情報

蓄積性 所見なし  
 分解性 所見なし

14. 廃棄上の注意

- ・産業廃棄物の地方自治体・国の規定に準拠して廃棄処分する
- ・容器及び機器の洗浄水を含む排水の処理は水質汚染防止法など関連諸法令に基づき対処する

15. 輸送上の注意

取扱及び保管上の注意欄に従い、輸送の際は適用法規欄を参考に各種法令に基づき行う  
 国連番号：1263

16. 適用法令

|         |                       |
|---------|-----------------------|
| 労働安全衛生法 | 表示                    |
|         | 有機則 第2種有機溶剤含有物        |
| 消防法     | 危険物 第4種第2石油類(非水溶性)Ⅲ等級 |
| 毒物劇物取締法 | 劇物 トルエン               |
| 船舶安全法   | 中引火点引火性液体             |

## 17. 参考文献

日本塗料工業会編「原材料物質データベース」  
溶剤ポケットブック  
危険防災救急便覧  
国際化学物質安全カード(ICSC)  
労働省基発第 312 号の 2(平成 5 年)

## 18. その他

- ・記載内容は入手しうる最新資料、データ、情報に基づき作成しており、新しい知見に従い改訂することがあります
- ・記載内容は通常の実用を前提にしており、特殊取扱時は用途用法に適した安全対策実施の上  
ご利用ください
- ・記載内容は情報提供であり保証するものではありません  
またすべての化学薬品には、未知の危険および有害性がありうるため、  
取扱いには細心の注意を払ってご利用ください